



8/4 JRご当地入場券が発売されました

JR北海道（島田修代表取締役社長）は鉄道風景をあしらった「JR北海道わがまちご当地入場券」を発売しました。この入場券は、鉄道利用者を増やし地域を盛り上げることを目的に作られています。本町の入場券は表面に塘路一標茶間を走る普通列車、裏面にはSL冬の湿原号が印刷されています。発売を記念し、池田町長に入場券を進呈した摩周駅の丹誠一郎駅長は「今回の発売開始を機に、少しでも駅や町に人が集まってもらえれば」と話しました。



8/20 アカエゾマツについて意見交換しました

アカエゾマツ同好会（横田博代表）は「第5回アカエゾマツサミットin標茶」を開発センターで開催しました。研究交流会では、アカエゾマツ精油による抗菌・殺菌作用についての研究報告や参加者による意見交換会が行われました。



8/20 バイク愛好家が集い交通安全啓発を実施

標茶町交通安全運動推進協議会（池田裕二会長）は夏の行楽期の交通安全キャンペーンの一環として、バイクの日街頭啓発を行いました。この日は、道内外のバイク愛好家約70人が集まり、愛車に交通安全旗を付け、啓発パレードを行い、交通安全を呼び掛けました。



7/27~8/1 夏休みも規則正しい生活を

磯分内小学校で、全校児童23人を対象として磯分内地域「あさかつ」事業が実施されました。学習タイムでは、標茶高校生5人の協力により、きめ細やかな補充学習が行われました。このほか地元同好会によるパークゴルフ教室や水泳教室なども実施され、子どもたちは地域住民との交流を通して、夏休みの楽しいひとときを過ごしました。



釧路新聞社提供

7/30~8/13 色紙展が開催されました

自生林短歌会（高取剛編集発行人）主催の色紙展「湿原を詠う」が塘路湖エコミュージアムセンターで開催されました。同展は釧路湿原国立公園制定30周年を記念したもので、会員10人が釧路湿原を題材に詠んだ句が展示されました。



8/19・20 古本市が開催されました

標茶古本市の会（菊地明美代表）による恒例の古本市が開催され、町内外から多くの方が来場されました。今回の収益金により「ようこそ日本へ！写真英語ずかん」など児童書6セット23冊が購入され、図書館へ寄贈されました。また前庭ではバザーが開かれ、好評を博しました。

ありがとうございます

8/3

元標茶町長の千葉健さんが、標茶町の発展に大きく寄与した3人をまとめた自身の編著書「3人の先覚者・標茶物語」を寄贈してくださいました。農業指導に尽力された上田源松氏や第2代標茶町長の高島幸次氏、第4代標茶町長の阿部悟郎氏ら3人の思い出などがまとめられている同書は、町内の各学校や図書館、公民館で閲覧することができます。



8/17

多田塗装工業（多田征人代表取締役）の皆さんが地域貢献活動として、特別養護老人ホームやすらぎ園および標茶町デイサービスセンター駐車場のライン引きをしてくださいました。



8/17

標茶輸送協同組合（岡村斉代表理事）の皆さんが地域貢献活動として、標茶中学校の窓拭きをしてくださいました。



町内在住のカメラ愛好者の方へ

町内で行われたイベントや明るい話題など、何でも結構ですので、写真の投稿をお待ちしております。

役場企画財政課地域振興係
「投稿写真コーナー」



8/21

給食食器が新しくなりました

新学期の開始に合わせて、町内の小中学校で使用されている給食食器がリニューアルされました。新しい食器には本町のキャラクター「ミルクックさん」がプリントされています。新しい食器を見た子どもたちは「いつもよりたくさん食べられそう」と笑顔を見せていました。

活躍が期待されます

8/28

全道大会へ出場する標茶中学校の卓球部と陸上部の選手たちが、その報告に役場を訪れました。卓球男子シングルに出場する島貫裕貴君（2年）は「悔いが残らないよう全力で頑張りたい」、陸上男子100mに出場する菅原悠暉君（1年）は「初めての全道大会では自己ベストを更新したい」と語りました。



おめでとうございます

7/31

虹別在住の加藤利助さんと塘路在住の土佐良範さんが、平成29年度自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞されました。加藤さんは西別岳の良好な登山道の維持と貴重な高山植物の保護活動を、土佐さんは釧路湿原国立公園利用者の適正な指導などに尽力されました。

また、中茶安別在住の丸山潔さんがタンチョウの保護活動に尽力されたとして北海道知事感謝状を受賞されました。

